

平成20年度 学校評価表 (中間評価)

学校教育目標		重点目標 (中・長期的目標)				
校訓 至誠創造 (純粋なまごころをもって、21世紀を生きる創造的な人間に育て欲しいという願いがこめられている。)		1 生徒一人ひとりの学力を伸長させ、希望する進路の実現を図る。 2 礼儀・挨拶・身だしなみの大切さを自覚させ、規範意識を高めさせる。 3 スポーツを通して明朗闊達な精神力を育む。 4 環境美化に積極的に取り組み、文化の香りが漂う学舎づくりに励む。				
教育基本法・学校教育法及び長野県立高等学校管理規則に基づき、特に次の項目を本校教育の目標として掲げる。		* 中野実業高校最終年度にあたり、更に地域に愛され期待される学校づくりを実践し、その良き伝統をふまえ新総合学科高校への円滑な移行を図る。 1 学力の向上を図る。(学習指導の充実、授業改善) 2 専門分野の学習に積極的に取り組む態度・意欲を育てる。(実学教育の充実、地域との連携) 3 基本的生活習慣の確立を目指す。(挨拶・身だしなみ、遅刻指導、環境美化) 4 キャリア教育の充実を目指す。 5 スポーツや文化活動による活力に満ちた明るい校風づくりを目指す。 * 達成度 A 達成できた B ほぼ達成できた C 改善の余地がある D 相当の改善を要す				
総合評価	(成果と課題: 達成度())	(改善策・向上策)				
領域	対象	評価項目 (具体的活動目標)	評価の観点	成果と課題	達成度	改善策・向上策
教育活動	1 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導の充実 基礎学力向上のための授業改善 	<ul style="list-style-type: none"> 生活学習実態調査の実施・分析等を行い、学習実態の改善に結びつけることができたか 日常的な授業検証や生徒への授業アンケートにより具体的な授業改善がなされたか 	<ul style="list-style-type: none"> 一学期中に生活学習実態調査を実施、生徒の生活実態を把握し、7月下旬の保護者懇談会で活用することができた。 例年より早く10月中旬に授業アンケートを実施し、現在集計処理中である。各自フィードバックし今後の授業改善に役立てる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 生活学習実態調査の集計結果から浮かび上がった生徒の実態の改善に、日々取り組む。 授業アンケート結果を各自、真摯に受け止め、生徒の学習意欲をより高める授業作りに励む。
	2 専門科 商業科	<ul style="list-style-type: none"> 社会人・職業人として必要なマナーやコミュニケーションスキル学習の充実 各種資格試験・検定試験への対応 	<ul style="list-style-type: none"> マナーやコミュニケーションスキル学習の重要性を理解させ、様々な場面で実践できる能力を身に付けさせることができたか 意欲的に各種資格試験や検定試験に挑戦させ、成果をあげさせることができたか 	<ul style="list-style-type: none"> 科目「総合実践」においてサブテキストを活用し、コミュニケーションスキルやビジネス常識の学習指導に力を入れている。生徒も前向きに取り組んでいる。 各種資格試験や検定試験に積極的に取り組む姿勢がみられた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの教師がアンテナを高くし、マナーやコミュニケーションの重要性をより深く認識させるための教材や話題を収集することに心がける。 進路決定後も意欲が低下することのないよう、継続して各種資格検定試験に取り組ませる。
	機械科	<ul style="list-style-type: none"> 機械技術者としての基礎能力の育成と応用力の育成 ものづくりを通じた技能・技術の向上と創造力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 授業で学んだ事柄を基礎に主体的に創意工夫しながら「課題研究」に取り組ませることができたか ものづくりコンテストへの参加や資格取得を通して作品の完成度を高め基礎理論の積み重ねができたか 	<ul style="list-style-type: none"> 課題研究などグループ学習を通して創意工夫や問題解決に取り組む姿勢と協調性が身につけてきている。 長期休業中をはじめ進路を意識した資格取得に意欲的に取り組む生徒が多く見られた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 三学期に予定している「課題研究発表会」で学習成果をわかり易く発表できる力を付けさせる。 一二年生にも各種資格およびその取得に向けた学習の有用性を認識させ、積極的に取り組む姿勢を醸成する。
	電気科	<ul style="list-style-type: none"> 電気技術者としての基本的能力の育成 学科に関する資格試験・検定試験への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的内容のきめ細かな指導を行い、生徒間で協力し合う実技関連科目を通して、基本的能力を定着させることができたか 補習等を含めた指導で、資格を取得させることができたか 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎科目ではきめ細かい指導ができ、「実習」及び「課題研究」においては自発的に協力し学習を進める生徒が増えている。 資格取得面では、既合格者に補習指導を手伝わせることにより効率的な指導でき、一定の成果があがっている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の理解力や技術力向上に向けた指導を実践するため、職員研修やわかりやすい教材の開発に取り組む。 有資格者が級友を指導することは本人のレベルアップにもなるので、今後もこの補習形態は継続したい。
	土木科	<ul style="list-style-type: none"> 建設技術に関する基礎学力の向上と基本技術の習得 	<ul style="list-style-type: none"> 力学・測量の基本的な計算を正確に理解させることができたか 実習・課題研究に主体的に取り組むことにより、興味関心をより深めさせることができたか 	<ul style="list-style-type: none"> プリントで段階的な課題を与えることにより、個々の進捗を把握しながら指導することができた。 達成感を得られるよう具体的な課題を設定させることにより、主体的に取り組む生徒が増えている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 身につけた基礎力を応用し課題を解決する力を高めさせたい。 座学と実習をリンクさせ、学習分野をより深く理解させたい。

領域	対象	評価項目(具体的活動目標)	評価の観点	成果と課題	達成度	改善策・向上策
教 育	3 生活指導	<ul style="list-style-type: none"> 身だしなみの確立 挨拶の励行 盗難の予防 	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画(実施方法)の立案、実施ができ成果が得られたか 全職員の理解と協力を得られたか 	<ul style="list-style-type: none"> 折に触れ指導を繰り返しているが、未だ一部生徒に身だしなみに乱れがある。 毎朝校門での職員による声かけなどにより、挨拶が多く交わされるようになっている。 毎時間の職員による空き教室巡回で盗難は予防されている。 	<ul style="list-style-type: none"> B B A 	<ul style="list-style-type: none"> 係、学年、学級・教科担任と連携して、身だしなみに乱れのある生徒の自覚を促す。 引き続き職員が率先して挨拶を交わす。 空き教室巡回を継続するとともに、折に触れ注意を喚起する。
	4 保健環境 特別支援 教育	<ul style="list-style-type: none"> 健康の増進 特別支援教育の充実 校内の美化 安全の管理 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒、職員が健康管理の必要性を認識し行動するよう取り組ませることができたか 特別支援教育の研修や情報提供ができたか。個別の事象に対応できたか 生徒会との連携により、校内美化が図れたか 生徒、職員が安全な学校生活を送ることができたか 	<ul style="list-style-type: none"> 各種検診および校医による健康相談を予定通り実施した。 全校一斉に、特別支援を必要とする生徒調査を実施した。特別支援教育について理解を深めた。 教職員・生徒が協力し全校あげてゴミを分別収集しているが、なお一層の徹底を図る。 岳南消防署の指導の下、職員向けのAED取扱い講習会や防災避難訓練を実施し学校安全を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> B B B B 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き年間計画に従って実施する。 11月下旬、外部講師を招聘し研修会を実施、理解を深める予定である。 全職員が一致協力してゴミ分別や校内美化の徹底を図る。 安全管理につながる校内点検や訓練等を定期的に行う。
	5 進路指導	<ul style="list-style-type: none"> よき産業人になるためのキャリア教育の推進 希望する進路の実現 	<ul style="list-style-type: none"> 専門高校の特徴を活かし、主体的に自己の進路と向きあえるようなキャリア教育を進めることができたか 学年・科・地域企業・上級学校と連携を深め、希望する進路実現に向けて努力させる指導ができたか 	<ul style="list-style-type: none"> 本校での各専門教科を中心とした三年間の学習や職場体験学習およびキャリア講演会等を通じて、働くことの意味を考えさせている。 よりよい進路決定ができるよう、職場見学やキャンパス見学等を体験させるとともに、専門科・学年会・進路係が連携をとりながら個別指導を繰り返した。 	<ul style="list-style-type: none"> B B 	<ul style="list-style-type: none"> 進路決定者に対しては、残された高校生活を充実させ進路先で自己を生かきれるよう意欲と知識・技能を高めさせる。 進路未決定者に対しては、今後の人生設計を考えさせる中で、より良い進路選択ができるよう支援する。
	6 生徒会	<ul style="list-style-type: none"> 全員参加の生徒会 新総合学科高校との連携と円滑な移行 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの役割を明確化し、文化祭等への参加状況を改善することができたか 新総合学科学校高校生徒会と連携した生徒会活動を実践し、良き伝統を伝えることができたか 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりが自らの役割を自覚し、委員会活動や文化祭へ積極的に取り組む姿が多く見られた。 各委員会の合同運営や文化祭の共同開催等、新総合学科高校との連携はスムーズに進んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> B B 	<ul style="list-style-type: none"> 残された高校生活の中で生徒会活動に自主的・積極的に参加させ、上級生としての範を示させる。 今後の役員選挙や卒業式に関連する生徒会行事等を通して、本校伝統の良き点を新総合学科高校に伝える。
学 校 運 営	7 学年会 3学年	<ul style="list-style-type: none"> 自己伸長と適性にあった進路選択 自律心および社会性の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 希望する進路を実現させるべく自己伸長に向け努力させることができたか 最高学年としての自覚を持ち、より良い高校生活を送らせることができたか 	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導係と連携し積極的な進路指導を心がけた。その結果、生徒一人ひとりの希望する進路実現が順調にできている。 最高学年の自覚を持って生徒会活動や課外活動に臨むよう心がけさせた。 	<ul style="list-style-type: none"> A B 	<ul style="list-style-type: none"> 進路決定者には残りの高校生活を充実させるとともに、未決定者への支援の充実を図る。 よりよき社会人として、社会ルールに則った思慮深い行動ができるような心構えと生活習慣を身に付けさせる。
	8 魅力ある 学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 新総合学科高校への円滑な移行 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で開催されるイベントへの、専門高校としての特性を生かした積極的な参加を実践し、その活動を新総合学科高校へ伝えることができたか 	<ul style="list-style-type: none"> 市や地域で開催される催し物および学習成果の発表会に積極的に参加させた。施設・設備等のハード面の充実をはじめ新総合学科高校へのスムーズな移行にも取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> B 	<ul style="list-style-type: none"> 新高校で設定した選択科目の指導内容・指導方法およびその発表の機会を共に検討し、地域と連携した総合学科高校の確立を支援する。
	9 校内研修	<ul style="list-style-type: none"> 各領域の目標達成に向けた校内研修の充実 個人研修の共有化 	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修の内容・回数が適切で効果的であったか 個人研修の成果が全体のものとなったか 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テストの放課後等を活用し、救急救命校内研修を実施した。 職員は、それぞれ各自の課題に対する研修を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> B B 	<ul style="list-style-type: none"> 必要性や緊急度の高い課題に対して、タイムリーに研修会を実施する。 11月に設定した学校開放週間を活用し、個々の職員の教育力向上を図る。

(注) アンケートや懇談会等を通じ、生徒や保護者および地域住民から意見・要望の把握に努め学校評価に生かすとともに、学校評議員会においても評価を求める